

『支え合いひろば ひだまり』 & 安心おとどけ隊 活動レポート

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

特定非営利活動法人 志民アシストネットワーク

〒332-0021 川口市西川口5-2-1-106 ☎048-250-5587

ホームページ: <http://shimin.jp/anshin/> メール: anshin@shimin.jp

今年度の事務局スタッフです。よろしくお願いします！



独立行政法人福祉医療機構

**社会福祉振興
助成事業として
内定**



ハイライト:

- 2013年度のWAM(福祉医療機構)の助成金内定いただきました！
- 7/23に「支え合いひろば ひだまり」をオープンします！
- 最近のサポートから…?こんなサポートもしていますよ！
- 施設見学に行ってきました！

昨年度(2012年度)に助成いただいた福祉医療機構(WAM)へ、今年度(2013年度)も助成金申請をしました。

なかなか内定が出ず、どうなるものかと気を揉んでいましたが…ついに6/11、待ちに待った書留が届きました！

これで今年度も活動資金の心配が払拭され、心おきなく支え合い活動に邁進出来ます。

大切な助成金を1円も無駄にすることなく、事業活動が継続できる基盤作りに役立てたいと考えています。



今年度の事業テーマは…

「高齢者のトータルサポートのための場づくり」

です。

これまで4年に及ぶ支え合い活動の実践から見えてきたこと…それは、高齢者が安心して暮らすためには、日常生活で、ご自分ではできなくなってしまったことを、地域に住む周りの住民がお手伝いすることが欠かせません。

しかしそれだけで日常の不安が解消されるわけではなく、生きていくうえで必ず生まれてくるのが、さまざまな「困り事や悩み事」です。

この心配を抱えた時に…どうしたらいいのでしょうか？

そこで問題を抱えた時に、いつでも話を聞いてもらえる、気軽に相談できる場が必要なのです。

市役所や地域包括支援センターなど公的な相談窓口はありますが…なかなか相談には行きづらくありませんか？

だからこそ、こんな役割を担うため「地域支え合いひろば」を作ることになりました。

地域の人々が知恵と手を貸すことで、高齢者の先行きの不安をなくし、安心を満たそうという試みです。

さらに必要な場合は専門家のサポートにつなげます！

日常生活のお手伝いから悩み事まで、高齢者の皆さんの安心を生み出す取り組みです。

高齢者のトータルサポートの場 「支え合いひろば ひだまり」

7月23日(火) 午前10時30分 オープン！

★ひだまりが『地域支え合いひろば』に生まれ変わります！

○1階…福祉・介護情報コーナー&よろず相談コーナー&「居場所」空間

様々な情報を映像で提供します。眼で見て、本やチラシなどで確認！

自分が知りたいことは、その場でインターネットで検索！ 調べるお手伝いは

支え合い広場のコーディネーターがするので、ご安心ください！

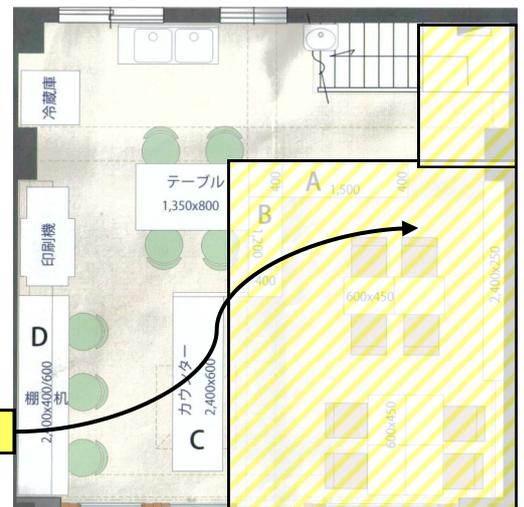
もちろん、入場無料！ 費用は一切かかりません！

※ただしコピー等は有料となります。他に飲物の注文も承ります。

○2階…小集会&セミナー&講座スペース

相談会やセミナー、お楽しみイベント等の開催も予定しています。もちろん、グループ活動などにも利用できます。

ここが、「ひろば」です



最近のサポートから・・・ こんなサポートもしていますよ！(安心おとどけ隊の活動から)



馴染みの床屋さんまで車イスで久しぶりの外出でした。

安心おとどけ隊は日常生活の中のサポートが中心ですが、ちょっと違ったこんなサポートもしていますよ！



←左は車椅子での外出のお手伝い

月に1回近所の床屋さんに出かけるのが楽しみとおっしゃるAさん・・・もう3年もお手伝いしています。



介護タクシーを利用



⇒右は、施設に入居されているBさんは車イスをご使用の為、なかなか外出もままなりません。ぜひスカイツリーを見たい！・・・このご希望をなんとか叶えてさしあげたいと、スタッフが奔走！ 通院で利用している介護タクシーと調整して日帰りツアーが実現しました。当日は生憎の悪天候で展望台には登れませんでした、たいへん喜んでいただきました。

・施設見学に行ってきました！・・・



上は、6/20のセミナー風

2013年度1回目の安心生活知識セミナーは6月20日に開催しました。テーマは「介護施設の種類と選び方のポイント」今年には座学とともに、実際の現場を見てみるというプログラムも取り入れたので、訪問した時の様子をほんのちよっぴりですがご紹介しましょう。3ヶ所の施設、それぞれコンセプトも違いますが、「なるほど、いろいろあるんだ～」・・・というのが正直な感想でした。

施設長から説明を聞く参加者



【その2】

『日暮里コミュニティ』この特徴は？・・・なんといってもこれ！お分かりでしょうか？

右の写真、フロントの右手に小さな子供が・・・面会に来たお孫さんではありません。

同じ建物内に「認可保育園」があるんです！

0歳～2歳児のかわいい子供たちが、いつもこうして施設の中やまわりの庭で遊んでいる姿が見られます。

そして、建物の一部には自主運営型の賃貸住宅(コレクティブハウス)も併設されています。まさに、高齢者だけが孤立した環境に置かれるところとは、まったく違う雰囲気が漂っていました。

子どもから若者や高齢者などさまざまな人々が共に住む複合型ハウス10年を迎えた、こんな共用のサークル室もあります。



そしてもうひとつ・・・
12階にある展望風呂！ 右⇒

【その1】

『リボンシティ川口』ハイグレードな自立型と介護施設の共設タイプ

下左⇒介護入居者用の食堂。 直営のため、施設スタッフがここで毎回調理して出来たての食事を提供しています。



【その3】

「サービス付き高齢者向け住宅」『ココファン西川口』一般的な有料老人ホームが利用権のため入居一時金が必要ですが、ここは賃貸借契約のため一時金が不要



上左⇒共用の洗濯室



上右⇒食堂コーナーに設置された共用のIHや電子レンジ

安心おとどけ隊ブログもごらんください！

<http://anshin521.blog.fc2.com/>

お問合せは ☎ 048-250-5587 へどうぞ。月～金 10～17時